

「国際金融論 1」試験問題

(担当者名：蓮見 亮)

2019年7月25日(木) 13時00分～14時00分施行

- ・試験時間 60 分、問題用紙 1 枚 (全 4 ページ)、解答用紙別紙、解答用紙のみ提出
- ・電卓のみ持ち込み可 (関数電卓可、スマートフォン等不可)

問 1. 次の表をみて、以下の問に答えなさい。

【ビッグマック・インデックス (英国エコノミスト誌、2019年1月)】

	各国現地通貨建てでのビッグマックの価格	名目為替相場
米国	5.58 ドル	108.4 円/ドル
日本	390 円	—
欧州 (ユーロ圏)	4.05 ユーロ	124.3 円/ユーロ

I. 名目為替相場とは何か、説明しなさい。

II. もし各国の生産する全ての財について一物一価の法則が成り立つとすると、名目為替相場は各国通貨の購買力が等しくなる水準に決定されるという。

(1) 上記理論は何と呼ばれるか。

(2) 一物一価の法則とは何か、説明しなさい。

(3) 購買力とは何か、説明しなさい。

(4) 仮にビッグマックの価格が各国で等しくなるように名目為替相場が決定されるとすると、①円とドル、②円とユーロの間の名目為替相場はそれぞれいくらになると予想されるか。小数点以下第 2 位を四捨五入した値を回答すること。

(5) 現実の名目為替相場は (4) のように予想した水準とは必ずしも一致しないが、その理由について説明しなさい。必要に応じて「非貿易財」「代替」という用語を用いること。

問2. A国では、次の国際取引が2018年中に記録されている。

- 農作物の輸出 230 万ドル
- 医薬品の輸出 20 万ドル（これは無償援助物資で代金の受取りはない）
- 化石燃料の輸入：250 万ドル
- 国内へ旅行した観光客の国内での支払い 10 万ドル
- 海外への利息の支払い 10 万ドル
- 海外からの借入増加 20 万ドル
- B国への貸出の債務免除 5 万ドル
- 外貨準備の減少 15 万ドル

I. A国の2018年の国際収支表を作成しなさい。なお、国際収支統計では以下の恒等式が成り立つ。

$$\text{経常収支} + \text{資本移転等収支} - \text{金融収支（外貨準備増減を含む）} + \text{誤差脱漏} = 0$$

II. A国の2018年の名目国内総生産（名目GDP）は500万ドルであった。

- （1）GDPの定義について説明しなさい。
- （2）名目GDPと実質GDPの違いについて説明しなさい。
- （3）2018年のA国の名目国民総所得（名目GNI）はいくらか。

問3. 以下の各問を読み、正しい選択肢を1～4から1つ選んで解答しなさい。

（非公開）